

連結財務諸表

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)	当連結 会計年度	前連結 会計年度
流動資産	196,082	192,767
固定資産	146,643	147,703
① 資産合計	342,725	340,471
流動負債	65,968	69,989
固定負債	18,516	24,355
② 負債合計	84,485	94,345
③ 純資産合計	258,240	246,126
負債純資産合計	342,725	340,471

連結損益計算書及び連結包括利益計算書(要約)

(単位:百万円)	当連結 会計年度	前連結 会計年度
④ 売上高	319,385	315,978
売上総利益	81,463	79,844
販売費及び 一般管理費	56,306	55,282
⑤ 営業利益	25,156	24,562
経常利益	25,666	26,090
税金等調整前 当期純利益	24,472	18,753
⑥ 親会社株主に帰属する 当期純利益	17,374	14,476
包括利益	24,191	22,653

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)	当連結 会計年度	前連結 会計年度
営業活動による キャッシュ・フロー	33,450	33,715
投資活動による キャッシュ・フロー	△14,589	△24,666
財務活動による キャッシュ・フロー	△15,595	△12,332
現金及び現金同等物に 係る換算差額	1,283	1,591
現金及び現金同等物の 期末残高	55,252	50,703

① 「棚卸資産」の減少などがありましたが、「売掛金」や「退職給付に係る資産」の増加などにより、総資産は22億54百万円増加しました。

② 「支払手形及び買掛金」や「退職給付に係る負債」の減少などにより、負債は98億59百万円減少しました。

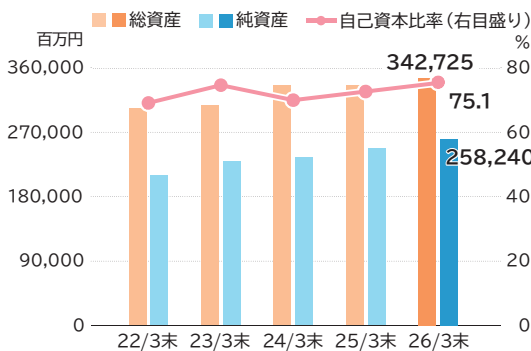
③ 「自己株式」の減少がありましたが、「利益剰余金」や「退職給付に係る調整累計額」の増加などにより、純資産は121億13百万円増加しました。

④ AI関連の需要増加により半導体・電子部品関連製品が堅調に推移したことにより、売上高は34億6百万円増加しました。

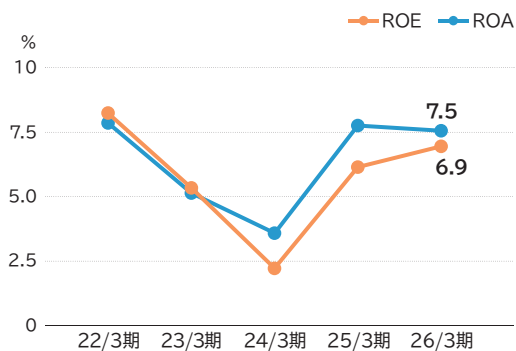
⑤ 原燃料価格の上昇や人件費を含む固定費の増加があったものの、販売数量の増加などにより、営業利益は5億94百万円増加しました。

⑥ 営業利益が増加したことや特別損失が減少したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は28億97百万円増加しました。

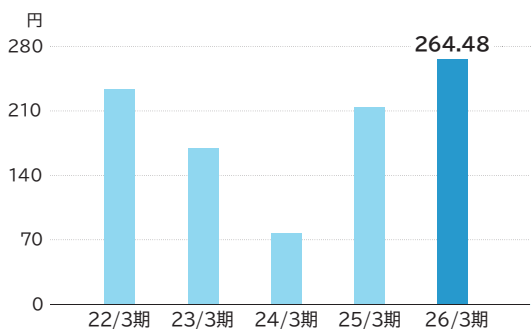
総資産・純資産・自己資本比率



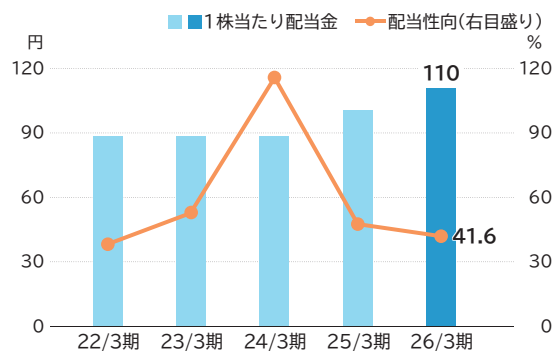
ROE (自己資本当期純利益率)・ROA (総資産経常利益率)



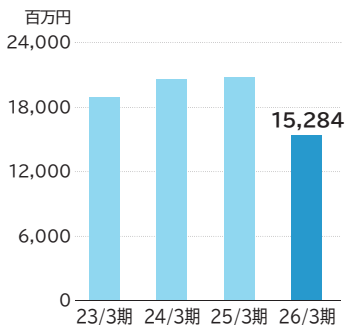
1株当たり当期純利益



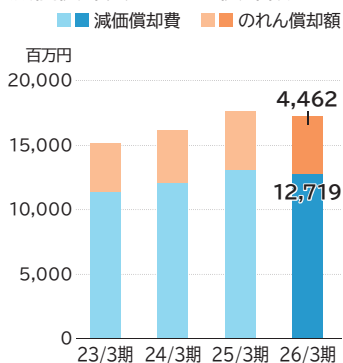
1株当たり配当金・配当性向



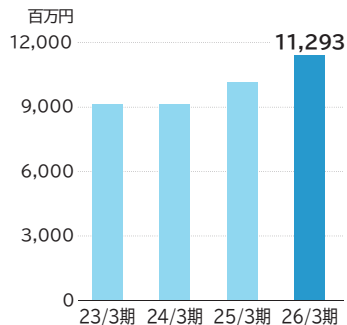
設備投資額



減価償却費・のれん償却額



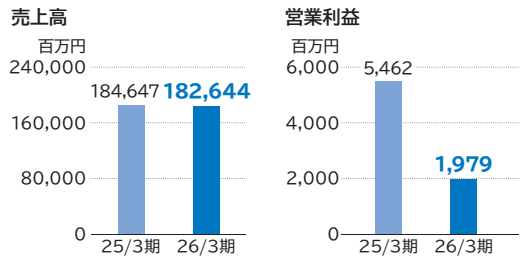
研究開発費



印刷材・産業工材関連 (前期比)

売上高 **1,826億44**百万円 (1.1%減)

営業利益 **19億79**百万円 (63.8%減)



印刷情報材事業部門 (前期比)

売上高 **1,455億17**百万円 (0.8%減)

主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム



産業工材事業部門 (前期比)

売上高 **371億26**百万円 (2.3%減)

主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウィンドーフィルム
- 屋外看板・広告用フィルム
- 内装用化粧フィルム



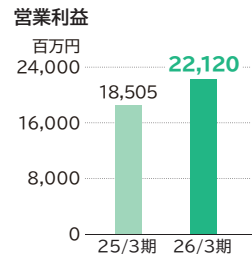
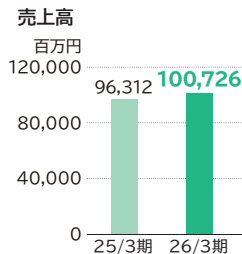
事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- 印刷情報材事業部門はシール・ラベル用粘着製品が、国内では食品関連や飲料キャンペーン用などは低調だったものの、医薬および物流用は堅調に推移し、アイキャッチ用の需要は回復しました。海外では米国で販売数量は増加したものの、売上構成や為替などの影響により減少したほか、アセアン地域においても低調に推移しました。
- 産業工材事業部門は国内では建物用ウィンドーフィルムが低調だったものの、自動車用ウィンドーフィルムや自動車用粘着製品は堅調に推移しました。海外では米国で防犯用ウィンドーフィルムの需要が低迷したほか、アセアン地域で自動車用粘着製品が減少しました。
- セグメント営業利益は国内で原燃料価格や物流コストの上昇、固定費増加の影響があったほか、米国で固定費の増加や工程歩留まりの悪化の影響を受け、前期に比べ減少しました。

電子・光学関連 (前期比)

売上高 **1,007億26**百万円 (4.6%増)

営業利益 **221億20**百万円 (19.5%増)

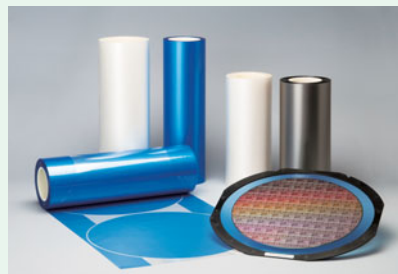


アドバンストマテリアルズ事業部門 (前期比)

売上高 **928億9**百万円 (9.2%増)

主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ



オプティカル材事業部門 (前期比)

売上高 **79億16**百万円 (30.0%減)

主要製品

- 光学ディスプレイ関連粘着製品



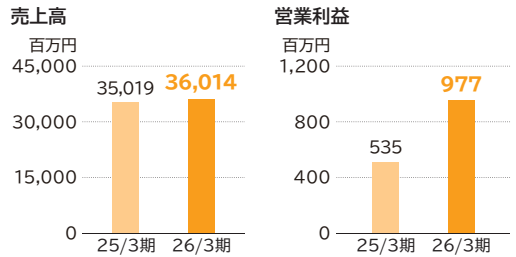
事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- アドバンストマテリアルズ事業部門は半導体関連装置が微減となりましたが、半導体関連粘着テープはAI関連の需要増加などにより好調に推移しました。積層セラミックコンデンサ関連テープはデータセンターやスマートフォン向けなどのハイエンド用の需要増加により、好調に推移しました。
- オプティカル材事業部門はOLEDディスプレイ用粘着テープが前期並みに推移したものの、韓国・台湾子会社の閉鎖影響もあり売上高は減少しました。
- セグメント営業利益は増産体制強化のために導入した新設備の減価償却費などの固定費は増加しましたが、半導体・電子部品関連製品の販売数量の増加により、前期に比べ増加しました。

洋紙・加工材関連 (前期比)

売上高 **360億14**百万円 (2.8%増)

営業利益 **9億77**百万円 (82.6%増)



洋紙事業部門 (前期比)

売上高 **146億77**百万円 (1.3%減)

主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 建材用紙



加工材事業部門 (前期比)

売上高 **213億36**百万円 (5.9%増)

主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙



事業部門別の売上高とセグメント営業利益の概況

- 洋紙事業部門は工業用特殊紙が堅調だったものの、主力のカラー封筒用紙や耐油耐水紙は需要減少により低調に推移しました。
- 加工材事業部門は合成皮革用工程紙が減少したものの、電子材料用を中心に剥離紙が堅調に推移したほか、光学関連製品用剥離フィルムや炭素繊維複合材料用工程紙の需要が回復しました。
- セグメント営業利益は原燃料価格や物流コストの上昇影響があったものの、洋紙事業で前期に実施した固定資産減損により営業損失が縮小したことに加え、加工材事業の増販効果もあり、前期に比べ増加しました。

※ セグメント別の営業利益はセグメント間取引消去前の数値に基づいています。

株式情報 (2026年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	300,000,000株
発行済株式の総数 (ただし自己株式を除く)	65,481,432株
単元株式数	100株
株主数	8,143人

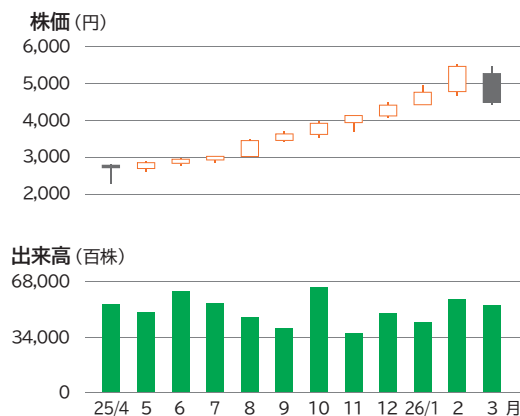
大株主の状況 (上位10位)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本製紙株式会社	19,659	30.02
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,885	8.98
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	3,788	5.78
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,701	2.59
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	1,308	1.99
庄司 たみ江	1,226	1.87
リンテック従業員持株会	1,182	1.80
塩飽 恵以子	963	1.47
庄司 光江	797	1.21
明治安田生命保険相互会社	729	1.11

注1. 当社は自己株式7,007,308株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

株価および出来高の推移 (2025年4月~2026年3月)





IRメール配信サービスのお知らせ

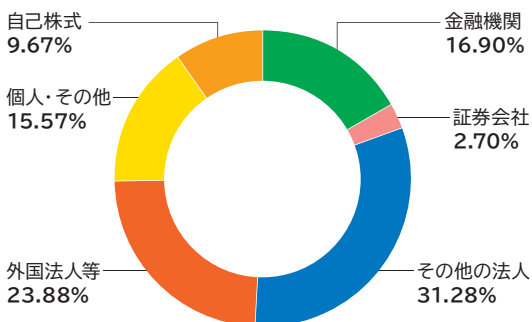
当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、当社IR情報サイトよりご登録をお願いいたします。



スマートフォンなどでこの二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

www.lintec.co.jp/ir/ir_mail

所有者別分布比率



株主メモ

定時株主総会	6月
配当基準日	期末：3月31日 中間：9月30日
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社
・郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・フリーダイヤル	☎ 0120-232-711
・ホームページアドレス	www.tr.mufg.jp/daikou
住所変更、单元未満株式の買取・買増等のお申し出先について	株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
未払配当金の支払いについて	株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
株主総会資料の書面交付請求に関するご案内	株主総会資料の書面での交付を希望される場合は、株主様の口座のある証券会社または株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
法定公告掲載ホームページアドレス	www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html



リンテック株式会社 *Linking your dreams*

● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23
URL www.lintec.co.jp

発行 広報・IR室 2026年6月
TEL. (03) 5248-7741
FAX. (03) 5248-7754

社名の由来は、リンケージ(結合)とテクノロジー(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE(結合)・LOYALTY(誠実)の三つの「L」で表現したウエーブ(波)を組み合わせてデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。